

## 平成 18年度 特定自動車製造業者等からの受託業務の実績

(財)自動車リサイクル促進センター（以下、当センター）が、自動車リサイクル法に基づく指定再資源化機関として、平成 18 年度（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）に特定自動車製造業者等<sup>※1</sup>の委託を受けて実施した再資源化等の実績を公表いたします。

当センターでは、引き続き使用済自動車の再資源化等の確実かつ効率的な実施に取り組んで参ります。

※1 特定自動車製造業者等：

自動車メーカー・輸入業者であって、製造・輸入した自動車の台数が年間 1 万台に満たないもの

### 1. 再資源化等契約状況

当センターでは、下表の特定自動車製造業者等 23 社と契約を締結のうえ、業務を受託しております。

契約締結年月日	会社名
平成16年10月1日	株式会社 光岡自動車 株式会社 オートレックス 株式会社 オートリーゼン オートトレーディングルフットジャパン 株式会社 シトロエン・ジャポン 株式会社 コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド フィアットオートジャパン 株式会社 ゼネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン 株式会社 ヒュンダイモータージャパン 株式会社 クインランド・カーズ 株式会社 (旧近鉄モータース 株式会社) エルシーアイ 株式会社 三井物産オートモーティブ 株式会社 ニコル・レーシング・ジャパン 株式会社 ポルシェジャパン 株式会社 日産トレーディング株式会社(旧 ルノー・ジャポン 株式会社) ロールス-ロイス モーターカーズ リミテッド 日本ボルボ 株式会社 <span style="float: right;">計17社</span>
平成16年12月1日	株式会社 鈴商 株式会社 加藤製作所 株式会社 小松製作所 東急車輛製造 株式会社 <span style="float: right;">計4社</span>
平成17年3月1日	コベルコクレーン 株式会社
平成18年3月1日	オートイービジャパン 株式会社

## 2. 再資源化等実績

当センターが特定自動車製造業者等 23 社からの委託を受けて実施した再資源化等に必要となる行為の実績は下表の通りです。

	シュレッダーダスト <sup>※2</sup>	エアバッグ類		フロン類		
特定再資源化等 物品の量	4,669 t	重量	5,153 kg	重量	6,239 kg <sup>※5</sup>	
		個 数	50,743 個	CFC	507 kg	
			取外し回収処理	7,290 個	HFC	5,733 kg
			車上演作動処理 <sup>※3</sup>	43,453 個		
使用済自動車 の台数	22,581 台	台 数	18,047 台	台 数	19,050 台	
		取外し回収処理	3,123 台	CFC	1,784 台	
		車上演作動処理	14,727 台			
		一部取外し回収／ <sup>※4</sup> 一部車上演作動処理	197 台	HFC	17,266 台	

※2 シュレッダーダスト：

破砕業者が、廃車ガラ（解体工程で有用部品や廃油廃液等が回収され、外枠だけの状態になった車体）をシュレッダーマシンで細かく砕き、金属を回収した後に残ったもの

※3 車上演作動処理：

エアバッグ類について、車上に搭載したまま作動させて処理する方法。エアバッグ類のリサイクルには、取り外して回収する方法と車上演作動処理をする方法の2つがある

※4 一部取外し回収／一部車上演作動処理：

ある車に搭載されているエアバッグ類のうち、一部については取り外して回収し、一部については車上演作動処理することによって処理をする方法。エアバッグ類の種類によって車上演作動しないものがあるため、このような処理をする車がある

※5 少数点以下を四捨五入しているので合計値は一致しない場合がある。

## 平成18年度 義務者不存在車等の再資源化等の実績

(財)自動車リサイクル促進センター（以下、当センター）が、自動車リサイクル法に基づく指定再資源化機関として、平成18年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）に実施した義務者不存在車等<sup>※1</sup>の再資源化等の実績を公表いたします。

当センターでは、引き続き使用済自動車の再資源化等の確実かつ効率的な実施に取り組んで参ります。

※1 義務者不存在車等：

並行輸入車など、リサイクルをすべき自動車メーカー・輸入業者が存在しない（又は分からない）自動車

### 1. 再資源化等実績

当センターが実施した義務者不存在車等に係る再資源化等に必要な行為の実績は下表の通りです。

	シュレッダーダスト <sup>※2</sup>	エアバッグ類		フロン類	
		重量	1,383 kg	重量	3,162 kg <sup>※5</sup>
特定再資源化等物品の量	4,965 t	個数	20,209 個	CFC	1,111 kg
		取外し回収処理	2,098 個	HFC	2,050 kg
		車上作動処理 <sup>※3</sup>	18,111 個		
使用済自動車の台数	21,508 台	台数	5,484 台	台数	10,178 台
		取外し回収処理	963 台	CFC	3,995 台
		車上作動処理	4,493 台		
		一部取外し回収 <sup>※4</sup> 一部車上作動処理	28 台	HFC	6,183 台

※2 シュレッダーダスト：

破砕業者が、廃車ガラ（解体工程で有用部品や廃油廃液等が回収され、外枠だけの状態になった車体）をシュレッダーマシンで細かく砕き、金属を回収した後に残ったもの

※3 車上作動処理：

エアバッグ類について、車上に搭載したまま作動させて処理する方法。エアバッグ類のリサイクルには、取り外して回収する方法と車上作動処理をする方法の2つがある

※4 一部取外し回収／一部車上作動処理：

ある車に搭載されているエアバッグ類のうち、一部については取り外して回収し、一部については車上作動処理することによって処理をする方法。エアバッグ類の種類によって車上作動しないものがあるため、このような処理をする車がある

※5 少数点以下を四捨五入しているので合計値は一致しない場合がある

### 2. 収支状況

当センターが払渡しを受けた義務者不存在車等に係る再資源化等預託金の額、再資源化等に必要な行為に要した費用、及び収支差額は下表の通りです。

	シュレッダーダスト	エアバッグ類	フロン類	合計
払渡しを受けた再資源化等預託金	299,742,122 円	18,231,233 円	22,943,386 円	340,916,741 円
再資源化等に必要な行為に要した費用	247,432,149 円	15,765,874 円	21,876,534 円	285,074,557 円
収支差額	52,309,973 円	2,465,359 円	1,066,852 円	※655,842,184 円

※6 ・平成18年度は、処理台数の大幅増により黒字となりましたが、借入金返済が単年度で約17百万円、平成22年度までの累計は約70百万円と、負債がまだあり、資金を確保する必要があります。

・当該業務は、一般的な国内自動車メーカーに比して、母体となる処理台数が少なく、台数の増減による収支の振れ幅が大きい為、短期間での収支均衡化は難しく、中長期で均衡すべきと判断しています。